

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (四国)	良くなる	設計事務所（所長）	・メーカー等の展示会やPR会が頻繁に開かれるようになった。
	やや良くなる	衣料品専門店（経営者）	・気温の下がった11月後半の売上はそこそこ良かったことや、12月はいよいよ催事期に入ることなどからある程度の売上は期待できる。
		家電量販店（店員）	・ボーナス商戦で単価・販売数の回復を願う。
		乗用車販売店（従業員）	・来月上旬にモデルチェンジ発表予定の新車の受注は、高グレード車を中心に順調な立ち上がりが見込まれる。
		乗用車販売店（従業員）	・来月に新型車の発表があり、かなりの受注台数が見込め期待も大きい。例年年末から年度末にかけて繁忙期を迎えるが、今年は希望を込めて例年以上の販売増を予想している。
		乗用車販売店（従業員）	・新型車が発売されるなど期待が持てる。ただ、納期の長期化が予想されるので、すぐには売上につながらない。
		乗用車販売店（役員）	・11月に入って少し動きが出てきたようだ。12～1月に新車の投入があるため、2～3か月は堅調に推移すると予想している。
		その他専門店〔酒〕（経営者）	・年末には、お歳暮などで売れるが、3か月先は少し景気は悪くなるだろう。
		通信会社（営業担当）	・冬商戦期に家族まとめでの需要を狙いたい。
		通信会社（営業担当）	・春商戦期に入り、需要が高まると想定。
	変わらない	商店街（代表者）	・11月末以降寒い日が続き、重衣料を中心に冬物衣料が売れている。これから冬物商戦、クリアランスなどでかなり期待ができるので、今までくらいの景気状況で推移すると思う。
		商店街（事務局長）	・プレミアム付商品券の有効期限が年末迄となっていることから、年明けは反動減が予想される。一方で消費マインドは上向いている感があり、総じて横ばいと見ている。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	・改善される要因が思いつかない。
		一般小売店〔乾物〕（店員）	・良くなるというイメージがわからない。
		百貨店（営業担当）	・寒くなって、徐々に客が戻ってきている。12月以降、客の動きが変わってくると信じている。
		百貨店（販売促進担当）	・8月から売上回復トレンドが継続していたが、11月は中盤以降がやや失速ぎみになっている。
		スーパー（店長）	・暖冬傾向になるとの長期予報が出ており、冬物商品の売上が厳しいと思われるため、景気は変わらないと予想する。
		スーパー（企画担当）	・来店客数が伸びないのを単価上昇分で補っている状況が続いている。客数が上昇に転じないと売上増は期待できない。
		スーパー（財務担当）	・競争相手の進出も今後続くことから、現状より良くなることはない。
		コンビニ（総務）	・消費喚起するような要因がなく、変わらない。
		コンビニ（商品担当）	・目に見えて良くなる要素があまりないので、変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	・前年、先月、先々月と比べて、来客数もかなり減っている。今は暖かいので、アウターが全然売れないが、寒くなってくると売れ出し、来客数も多少増えるのではないかと。
		衣料品専門店（経営者）	・原油価格は下がってきているが、給料が上がったという感じは見受けられない。
		衣料品専門店（総務担当）	・11月の最終週に気温が下がったが、売上が大きく改善することはなかった。加えて、暖冬の予報が出ているので、今後も厳しいと予想している。
		乗用車販売店（営業担当）	・新車購入意向での来店客数が激減していて回復見込みは全く予想がつかない。
		住関連専門店（経営者）	・景気が良くなる要素が見当たらない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（副支配人）	・気温に大きく左右されるが、購買意欲は強く感じられない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（支配人）	・気温が高めに推移すると、11月と変わらない状況になるのではないかと。暗い話題も多く、マインド的にも慎重な購買の仕方になっているのではないかと。
		一般レストラン（スタッフ）	・特に変わる兆しや理由がない。
		観光型旅館（経営者）	・忘年会の予約は前年並み、新年会もある程度は入ってくるだろうが、売上もそう伸びないだろう。年末年始にはあまり期待できない。
		都市型ホテル（経営者）	・予約状況は、昨年とあまり変わらない。ただ、ふるさとプレミアム旅行券の期限が切れてしまうので、宿泊についての先行きは不安が残る。

	タクシー運転手	・忘年会シーズンの12月は多少良くなるが、1～2月は行事も少ないと思う。忘年会等も1次会のみで、2次会、3次会の設定がないという声がある。	
	通信会社（企画）	・年末年始は引き合いが増える傾向にあるが、全体の景気は変わらないと思われる。	
	通信会社（支店長）	・テロ行為による世界経済への影響がみえないことから変わらないとした。影響がなければやや良くなると考えている。	
	観光遊園地（職員）	・来客数の動きから、積極的に良くなるとは思わない。	
	ゴルフ場（従業員）	・予約状況から判断しても、今のような状況で推移するのではないかと。	
	競艇場（職員）	・年末には大きなレースが開催され、売上が期待される。また、今年は人気のあるレースがあり、例年以上の売上が期待できる。1～2月は、各地の周年記念競走、地区選手権等が開催され、地元選手の活躍が鍵を握っている。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・現在の状況が継続し消費税10%に直面する。ネット社会の進展による弊害の方が徐々に目立つ時代になってくる。	
	一般小売店〔生花〕（経営者）	・クリスマスや年末年始商品の予約が年々減少してきている。当日購入する人が増えているため、年末の天候に人出と売上が左右されやすい。例年並みか、悪くなるとと思われる。	
	コンビニ（店長）	・良くなる要素が何も無い。競合の激化が要因と考えられる。	
	旅行代理店（支店長）	・国内旅行は好調であるが、海外でのテロ事件の影響で海外旅行の低下が長引く事を懸念している。	
	美容室（経営者）	・少しずつ悪化していると思う。	
	住宅販売会社（従業員）	・来客数・問い合わせ数の減少で、今後の契約数・売上高や完工数が減少していくと考えられる。	
悪くなる	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・お歳暮の時期だが、値引き率の高い店で消費者が買うため、年々売上が減ってきている。景気が良くないので、し好品は買い控え傾向にある。	
	コンビニ（店長）	・小売り流通は色々な業種と競合し、小売店や飲食店が出来る度に競合し影響を受けている。競合の出店も多く、この業界で改善の兆しはみえづらくなっている。	
	タクシー運転手	・冬場はお遍路の仕事がほとんどなく、3月中旬まで売上は落ちる。街中でも忘年会シーズンが終わると、1～2月はガタッと悪くなる。	
企業動向関連 (四国)	良くなる	-	
	やや良くなる	食料品製造業（商品統括）	・いたるところで人手の確保を目指しており、各企業の改革改善が進んでいる。
		木材木製品製造業	・年末から年度末までは受注残高からもある程度の生産見込みは立てられている状況。ただし、次の消費税導入への駆け込み要因が強く、生活面で余裕が出てきたなかでの消費動向であるとの手ごたえには至っていない。
		輸送業（経営者）	・短期的には大丈夫と思う。
		通信業（部長）	・冬商戦も始まり、今後はやや良くなる。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・原材料価格の好転が見込まれない。特に海外からの輸入原料について為替の好転が見込めない。
		繊維工業（経営者）	・小売店での売上が全国的に良くない。これまでと同じで、外国人観光客の多い都市部、観光地では良好であるが、地方の経済状況が良くないため、全体的には昨年並みの状況が続く。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・年末に向け受注が好調であり、このペースで行くと、過去最大の売上・利益になる。ただ1～2月は少し悪くなるだろう。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・中国経済減速、米国金利状況、原油価格動向など海外の不透明感に注視する必要があるが全体的に大きな変化はないと思われる。
		電気機械器具製造業（経営者）	・制度的に再生可能エネルギー関連事業は少しずつ落ちてきている。一方、新しく立ち上げたバイオマス発電の話は多くある。全体では大きく変わらない。
		建設会社（経理担当）	・公共工事は増えると見込んでいるが、材料費、労務費の値上げもあり、景気は変わりそうにない。
		建設業（経営者）	・年末から年度末にかけて、手持ちの仕事が順調に進み、売上が上がってくる時期である。従って、これから良くなる時期ではあるが、受注の総量が減少していることから、利益額は小さくなることを加味すると、変わらない。
		建設業（経営者）	・国の補正予算がいつ成立するか分からないので不安だ。
輸送業（支店長）		・原油価格の動向が注視される。もう少し安くなってくると業績にプラスに働く。	
通信業（総務担当）		・景気が良くなる要素がみられない。	
金融業（副支店長）	・資金需要の相談の中に、売上増加や新たな設備投資に対する資金需要相談が増えてきていない。		

	広告代理店（経営者）	・商業施設の新規オープンによる期待感はあったが、多くの得意先の情報では地方の消費低迷は依然として続いている。販促費等についても削減傾向にあり、景気はあまり変わらない見込みである。
	公認会計士	・色々な業種の方と話をしてきたが、総じて設備投資に消極的で、景気の先行きについて非常に心配をしている。マイナンバーの問題や消費税10%の引上げなどで将来が見えにくいということで非常に消極的になっている。
やや悪くなる	鉄鋼業（総務部長）	・受注量が減少傾向にあり、先行きの生産・販売量への影響が予想される。
	電気機械器具製造業（経理）	・得意先からの受注量はおおむね現状と同程度と予測している。また、利益に関しても特別なコスト変動要素を認識していないため、収益性の変化もないと思われる。
	輸送業（営業）	・歳末需要の増加する12月の繁忙期と1～2月の閑散期における取扱物量の格差が非常に大きい事から、景気の上昇は極めて期待薄であり先行きは極めて厳しい状況である。年末の繁忙期には運送が集中する事から車両不足が例年にも増して一段と深刻化しており、荷主の商流に影響を与えたとともに運賃の高騰を招く。
悪くなる		
雇用 関連 (四国)	良くなる やや良くなる	- -
	求人情報誌製作会社（従業員）	・募集を控えていた企業が、年明けには募集を開始するため、求人数の増加が見込まれる。
	職業安定所	・有効求人倍率は1.24倍で、前月比では0.05ポイント、前年同月比では0.18ポイント、それぞれ上昇しており、今後やや良くなると思われる。
	民間職業紹介機関（所長）	・次年度の採用計画も今年度の採用と同様に、積極的に採用人数を増やそうと考えている企業が数多くみられる。また、設備投資を考えている業種も増えてきている。ただし製造業においては、製造職の採用が確保出来なければ、設備拡大を控える企業もある。
	学校〔大学〕（就職担当）	・求人数が引き続き堅調であり、大手企業からの求人もみられる。
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	・求人意欲の高い企業は多いものの、優秀な人材が労働市場に流れてくる可能性は少ないため。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・広告主の販促費投下への意欲が弱いうえ、消費者も実質賃金が上がっているわけでもなく、将来の消費税増税や運用方法が曖昧なマイナンバー制度で資産が把握される恐れ等マインドが高揚する素地はないと思う。
	職業安定所（職員）	・企業の求人意欲は増大しているが、人手不足に伴って好条件が提示されているわけではない。
	職業安定所（職員）	・先月同様、中国経済の景気後退に伴って、日本企業にも影響が出始めているのではないかと懸念される。
やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・求職者の数が少なく、専門性が高い求人が増えつつありミスマッチを懸念する。
悪くなる	求人情報誌（営業）	・長期にわたる求人難は、企業の事業成長に悪影響が及び、中長期で見れば景気は悪くなる。特に流通業において、大手資本の新店舗オープンのための大量求人により地元資本の店舗、企業から人材が流出しており、かなり深刻な求人難となっている。小規模の企業にとっては事業の継続が危ぶまれるところもある。